

# NEWS TOPICS

昨年度、つまり令和3(2021)年度には、3例が新たに修景事例に加わりました。今号では、その1例をご紹介します。

<七まち町家再生活用センター>

大正期の銅板張りの建物で、2階部分に銅板を貼っています。1階部分を減築により当時の壁面の位置まで戻し、木製の出格子の窓や玄関の格子戸も復元しました。屋根を修繕し庇を葺き替え、銅製の樋を新設、2階外壁は既設銅板張りを補修して活かし、1階部分は漆喰と腰部焼杉で修景しています。



# 堺 環濠都市 NEWS

[ニュース]

北部

歴史的まちなみを  
未来に活かすため

今年も行灯展示を復活！  
あらゆる困難を乗り越えよう！

vol. 34

## INFORMATION

▶ **あなたなら、どうする？<町家保存活用試案>展示(前号で予告)**  
事情により開催予定が遅れています。決まり次第、HPやチラシ、ニュース等でお知らせしたいと思います。

▶ **町なみ再生イベント週間[10/28(金)~11/3(木・祝)に開催]**  
<イベント・その1> 展示「町家と環濠~よみがえる環濠都市の景観~2」  
日時：イベント週間期間中の13:00~16:00 場所：堺町家案内所(北旅籠町大道西・内田家住宅1F)  
<イベント・その2> 昔・町なみ歩こうイベント<「町割(まちわり)」を歩く①>  
期間中の10月30日(日)にまち歩きを行います。同案内所に13時集合、13時半出発、16時ごろ解散。  
詳しくはチラシまたはHPをご覧ください。

▶ **11月、12月の月いちバザーのお知らせ (10月はお休みです!)**  
11月19日(土)/20日(日) 場所：堺町家案内所(北旅籠町大道西・内田家住宅1F)  
12月17日(土)/18日(日) 時間：11:00~16:00  
11月は着物バザーです。着物バザーは今回が最後です。12月は通常のバザーです。バザーは今回を含めて後2回です。  
※予定は変更になることがあります。

▶ **協議会へのお問い合わせはこちら** ▶ **「まちなみ修景補助制度」へのお問い合わせはこちら**  
堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会 堺市 建築都市局 都市計画部 都市景観室(景観グループ)  
TEL 072-228-0953 [志賀] TEL 072-228-7432  
MAIL info@sakaimachinami.jp FAX 072-228-8468

### 今号の表紙

今号の表紙も、「元禄堺大絵図」模写本で、ニュース27号の表紙の絵図のすぐ南側の部分です。ここにも環濠の堀(土居川)の西側に沿って「土居幅八間」と「干場幅五間」と書かれた土地が見えます。柳之町の東端から続いている、これらの土地は、農人町の形成に関連すると推測されているようですが、後にはここにも家が建ち並びました。時が流れて、土居川は高速道路となり、それらの家も撤去され土居川公園となりました。戦後のある時期、その西側の成就寺の広い敷地の北半分には、「阪堺ストア」という名前の市場ができましたが、今はその跡地もほとんど住宅に変わりました。



「元禄堺大絵図模写本」【部分】(堺市博物館蔵)

前号NEWS発行から  
現在までの進捗情報

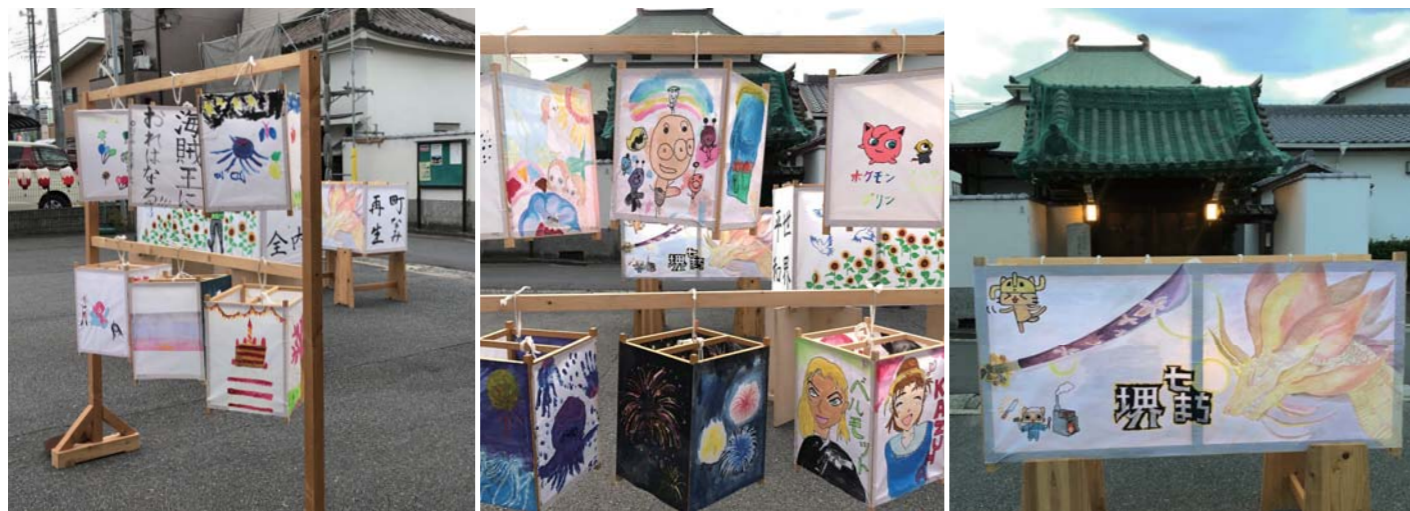
## 地蔵盆の行灯展示を復活しました！

8月23日(火)18時～21時・8月24日(水)9時～11時  
〈第1会場〉六万休地蔵から櫻館(桜之町西3丁の六間筋)／〈第2会場〉来迎寺門前の駐車場(綾之町西2丁)

昨年は、コロナ禍のために行灯展示を中止せざるを得ませんでしたが、今年は、一昨年と同じように、希望者に各自描いていただいた絵をお預かりするというやり方で、例年と同じ会場に展示しました。ただ、行灯はほとんど第2会場で展示し、展示時間もさらに短縮しました。

今年も、絵を描かれた方の年齢は幼児から80才以上と幅広く、大行灯では、以前のように家族で取り組んでいただいたり、新たに同級生でグループを組んで大作に挑んだり、皆さん楽しんでいただいたようです。また、この地にご縁のある方のお孫さんも遠方から参加されました。

参加者からは「来年も描きたい」、見に来たお友だちからは「来年は私も描きたい」という声をいただき、スタッフ一同、来年もがんばろうと思いを新たにしました。



## 町なみ再生シンポジウムⅡ 「歴史的景観の技術とデザイン～『都市』の記憶の再生にむけて～」開催しました！

協議会ニュース33号(前号)で予告した通り、10月9日(日)に、町なみ再生シンポジウムⅡを無事開催しました。今年はコロナ禍の影響も弱まり、少し状況は改善しましたが、引き続き十分な感染対策を講じて開催しました。

シンポジウムの内容については、次号(35号)で詳しくお知らせしますが、今年3月20日に開催したシンポジウムⅠに続いて、とても充実した時間を参加者の皆さんと共有することができました。

シンポジウムのレジュメの開催趣旨にもあるように、当協議会は、設立8年目の昨年度末、つまり、今年の3月に、今までの活動を振り返るとともに、将来に向かっての展望を見出し、引き続き何をなすべきかを再確認し、今後の活動に繋げていくためシンポジウムⅠを開催し、その一環として、設立9年目の今年度に引き続きシンポジウムⅡを開催しました。

当協議会は、来年度で10年目となり、第1期の活動を終えることとなります。また、現役員の任期も終了します。来年度は、シンポジウムⅢを開催し、「町なみ再生」の今後の課題と展望を見出したいと考えています。



## ついに 京都工芸繊維大学の堺環濠都市北部地区における調査が再開されました！

町なみ再生シンポジウムⅡが開催された日の翌日の10月10日から、京都工芸繊維大学教授の清水先生による堺環濠都市北部地区における調査が改めて開始されました。先生には2020年2月に初めてご講演をお願いしたことがきっかけで(協議会ニュース24号掲載)、同年6月の協議会総会の際、再び、「堺環濠都市北部地区文化的景観リサーチプロジェクト」のタイトルでご講演いただき、多くの参加者の皆さんのご賛同を得ました(ニュース25号)。

その後、同年10月3日に、第1回目の調査が実施され、「町なみ再生イベント週間」にもパネル展示をしていただきました(ニュース27号)が、以降は、コロナ禍のため、調査は中断されていました。その間、度重なる延期の末、2021年の10月に開催された総会でも(ニュース30号)、また、2022年(今年)3月に開催されたシンポジウムⅠでも、(ニュース32号)清水先生には、お忙しい中駆けつけていただき、文化的景観の視点からのお話を伺いました。

今回の調査では、今年中にも町家の実測調査等が行われる予定で、協議会としても、全面的に協力させていただきたいと思っています。地域の皆様にも、ご協力をお願いすることがありますので、お差し支えなければ、是非ご協力の程、よろしくお願い致します。